令和6年度 年次事業評価書 (評価対象年度: 令和5年度)

施設名: 日進市民会館・日進市ふれあい工房

概要	施設所在地・所管課	・日進市折戸町笠寺山62番地3(市民会館)・日進市岩崎町六坊乙9番地1(工房) 所管課: 学び支援課	
	設置目的	市民会館: 地域市民の教養の向上、福祉、文化の振興に資するため ふれあい工房: 市民の教養の向上を図るため	
	指定期間・選定方法	令和3年4月1日～令和8年3月31日	選定方法: 公募
	指定管理者	所在地	日進市浅田平子二丁目245番地
	団体名・代表者	日進アシスト株式会社 代表取締役 鐘江 俊勝	

	令和4年度	令和5年度	前年度比
指定管理料(市委託料)	125,205千円	127,770千円	102.0%
利用料金収入	24,932千円	26,070千円	104.6%
施設利用者数	142,199人	156,498人	110.1%

分類	評価項目	評価基準	評価点 (5~1点)
共通 評価 事項	1 法令等遵守	法令、条例、業務仕様書等に基づき、必要な施設の維持管理、点検、報告等が適切に行われている。	4点
	2 清掃業務	業務仕様書に基づき、清掃業務・維持管理が、適切に行われている。	4点
	3 保安警備業務	業務仕様書に基づき、保安・警備業務が、適切に行われている。	4点
	4 業務の委託	第三者への委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切に行われている。	4点
	5 業務記録	業務日誌及び点検、修繕等の履歴を適切に整備し、保管している。	4点
	6 職員の配置	必要な資格、経験を有するものなど、事業計画書に即し、人員を過不足無く配置している。また、従業員の労働条件、賃金水準が、適正に確保されている。	4点
	7 職員研修	施設の設置目的達成のために必要な研修・教育が、適切に行われている。	4点
	8 個人情報保護	利用者の個人情報を保護するための対策を適切に講じられている。	4点
	9 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保され、また、マニュアルが整備されている。	4点
	10 施設利用の状況	利用者数や施設の稼働率は、前年度の実績等に比べて適切、妥当な水準にある。	4点
	11 利用促進業務	施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動が適切に行われ、その効果が認められる。	4点
	12 利用者支援業務	施設利用者が円滑に活動できるように、必要な指導・助言が適切に行われている。	4点
	13 モニタリング	利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組が適切に行われている。また、事業報告書等による市への報告・説明が、適切に行われている。	4点
	14 自主事業	施設の目的に沿った自主事業が、適切に行われている。	4点
	15 収支の状況	利用料収入は、前年度の実績等に比べて適切、妥当な水準にある。	4点
	16 予算執行	施設の事業収支は、適切な手続きに沿って執行されている。	4点
	標準点(4点)を上回る評価をした項目と理由		
	標準点(4点)を下回る評価をした項目と理由		
	特記事項	【10 施設利用の状況】 商業施設のオープンに伴う説明会や採用関係において、企業の利用が増え、会議室系の稼働率が上昇した。 【11 利用者支援業務】 一般利用者による催事の際に、設営補助や来場者の誘導、チケットの販売など、施設管理者としての経験やノウハウを生かした支援業務を行っている。	
	(施設所管課) 改善に向けた助言等の内容	【7 職員研修】 指定管理者として必要な知識や考えを育むことや外部との繋がりを形成するためにも、専門職員向けの愛公文セミナーや劇場職員セミナー等、積極的に参加をし、人材育成に努めてほしい。 受託事業の市民講座、陶芸教室については、リピーターの受講も多いため、新たな受講者の確保に向けた周知とPRについて検証していただきたい。 事業の進行については、余裕をもったスケジュールで実施していただきたい。	

個別評価事項 (設置目的に応じた内容)	1 管理運営	事故防止等の安全対策を講じ、適切な管理運営がされている。	4	点
	2 地域との連携	地域や関係団体等との連携や協働が図られている。	4	点
	3 収入の増加	収入を増加するための具体的な取組がなされている。	4	点
	4 行政協力	市の行事への協力体制が図られている。	4	点
	特記事項	標準点(4点)を上回る評価をした項目と理由 標準点(4点)を下回る評価をした項目と理由 その他特記事項 【管理運営】 (施設所管課) 改善に向けた助言等の内容 設備等の修繕、改修については、現場の状況のほか、保守点検等の指摘事項等をふまえ、緊急度・危険度などを加味した上で優先度を決定し、予防修繕も含め、計画的に行ってほしい。異常などが発生した場合は早急に市へ報告し、情報共有に努めていただきたい。		
総評	課題点に対する取組状況 ※昨年度指摘した課題は解消されたか。	感染症対策が緩和され、利用者数の増加や、事業規模の拡大が見られた中においても、利用者が安全・快適に利用できる施設運営に取り組み、支障なく貸館業務を実施出来ている。	合計	
	一年間の総評 ※点数では表すことができない、指定管理者の管理運営業務における創意工夫や改善等を幅広く記載する。	貸館業務については、当該施設の指定管理を長年請け負っているノウハウなどを生かした利用者支援業務を実施するなど、利用者の満足度を維持、高める工夫を凝らしていることは強みであると考えられる。今後も継続していただきたい。 文化協会との連携講座について、次年度以降も子ども向けの事業を積極的に開催していくことで、次世代の文化活動の担い手の育成に寄与出来るよう、今後も協会と連携して事業を展開していただきたい。 自主事業として、ふれあい工房において「蚤の市」を初開催するなど、施設活用への意欲がみられる。施設のPRとしては有効な手法であったと評価できるため、今後も工夫して企画運営をしていただきたい。 施設管理については、設備、備品等の老朽化が進んでおり、修繕・改修が必要な箇所が増えてきている。予防修繕も含めて修繕が必要な箇所について今一度整理し、市と情報共有し、計画的な施設管理に努めていただきたい。	総合判定	80 点 A

判定基準	5点…期待する水準を大幅に満たし、優良な管理を行っている。
	4点【標準点】…期待する水準を満たし、良好な管理を行っている。
	3点…基本協定書等の内容は遵守されているが、これを上回る部分がなく課題の解消が必要な部分がある。
	2点…基本協定書等の内容を一部下回るものがあり、改善に対する課題がある。
	1点…管理運営が適切に行われたとは認められず、抜本的な改善を要する。

総合評価基準	S【優良】合計85点以上…期待する水準を大幅に満たし、優良な管理を行っている。
	A【良好】合計70点～84点…期待する水準を満たし、良好な管理を行っている。
	B【適正】合計60点～69点…一部に課題の解消が必要な部分があるが、概ね妥当である。
	C【改善】合計50点～59点…期待する水準を満たす状況になく、改善が必要である。
	D【抜本的改善】合計49点以下…期待する水準を大幅に満たしておらず、抜本的な改善が必要である。